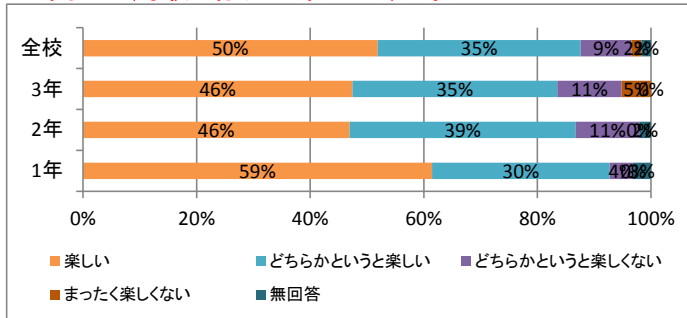


平成30年度1学期学校評価 生徒集計結果

宇部市立桃山中学校

1. あなたは、学校に行くのが楽しいですか。

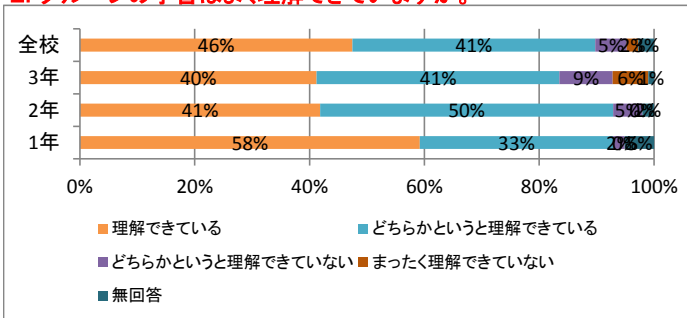


・いずれの学年も学校が楽しいと肯定的にとらえている生徒が80%を超えており、全校で85%いることは大変好ましい結果である。

・一方、まったく楽しくないとしている生徒が3年生に5%存在する。

・この5%の生徒はもちろんのこと、全校生徒が一人残らず、学校に行くのを楽しみとする生徒を増やすためには、どうしなければならぬかが今後の課題である。

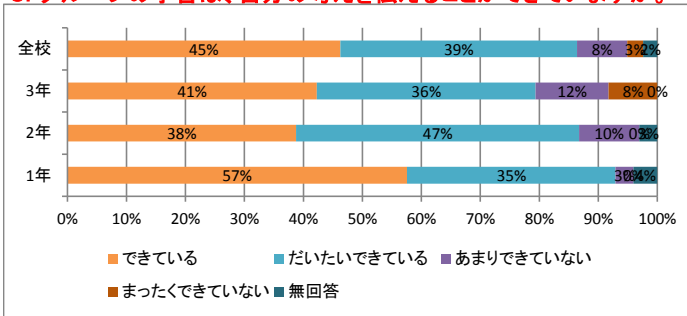
2. グループの学習はよく理解できていますか。



・理解できていると肯定的にとらえている生徒が全校で87%にのぼり、「学び合いのある授業」が確実に定着していると思われる。

・すべての生徒が学び合うことで喜びを感じ成長を感じ取ってほしい。そのためには、互いが教え合い学び合う関係性をさらに深め、学力向上に結びつけていくことが求められている。

3. グループの学習は、自分の考えを伝えることができますか。

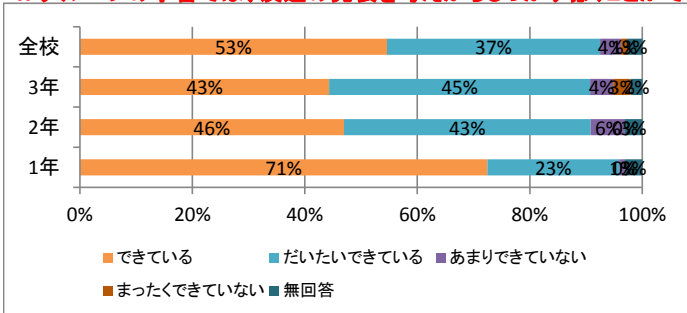


・いずれの学年も、自分の考えを伝えることができると肯定的にとらえている生徒が過半数を占めている。

・他の学年に比べて3年生は、できていない割合が20%とやや高く、昨年度からの継続課題である。

・自分の考えを述べる力を高めていくには、主体的・対話的で深い学びのある授業、本校で行っている「学び合いのある授業」の推進が必要不可欠である。

4. グループの学習では、友達の発表を考えからしっかり聴くことができますか。

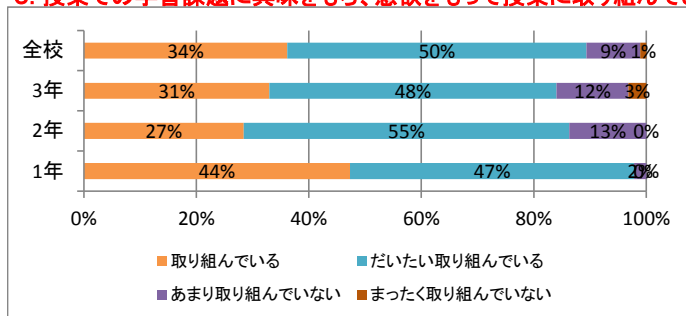


・いずれの学年も90%前後の生徒が、友達の発表を聴く姿勢を身に付けており、学び合いの授業が生かされていると思われる。

・聴く姿勢と学力の向上は、高い相関関係にあると思われる。したがって、聴く姿勢が身に付いている生徒は、学習効果が期待できる。

・他者の発言をしっかり聴くことにより、自分の考えが深まり、広がっていくことを理解させたい。

5. 授業での学習課題に興味をもち、意欲をもって授業に取り組んでいますか。

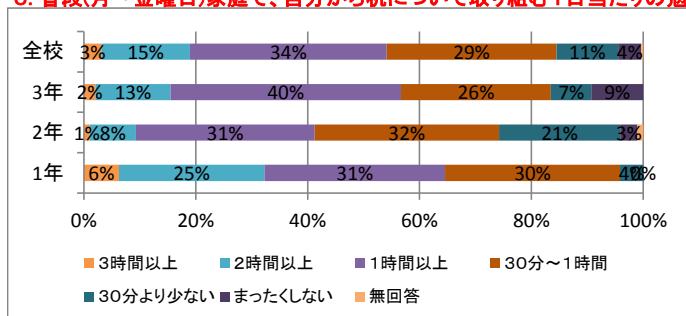


・いずれの学年も80%前後の生徒が興味や意欲をもって授業に取り組んでいる。

・特に1年生の取り組んでいるとする割合は91%で一段と高い。この姿勢を持続していけば、今後の伸びが期待できる。

・成績の向上は、授業での積極的な取組と直結する。10%の生徒は、学習に取り組む姿勢を見直し改善することが求められる。

6. 普段(月～金曜日)家庭で、自分から机について取り組む1日当たりの勉強時間はどれくらいですか。

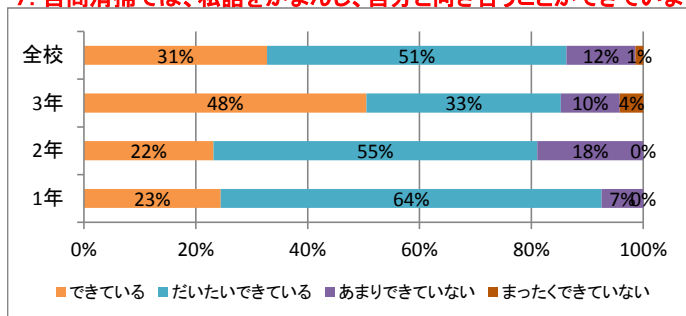


・1日の家庭学習時間は、どの学年も1時間以上2時間未満が最も多い。

・全体では半数近くが1時間未満であり、家庭学習時間の不足が浮き彫りとなっている。

・携帯電話やスマホ、ゲーム等にかかる時間等、家庭生活を見直し、家庭学習時間の確保が継続課題である。今こそ、小学校、家庭との連携強化が求められている。

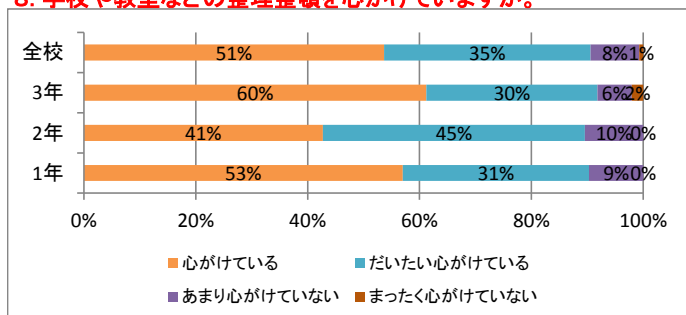
7. 自問清掃では、私語をがまんし、自分と向き合うことができますか。



・82%の生徒が概ね、自問清掃ができているとしており、すっかり定着してきた。特に1年生は87%と一番高い割合を示した。

・自問清掃の意識や取組が年々高まっている。小中9年間を見通した取組でもあるので、一層取り組んでほしいと強く願う。

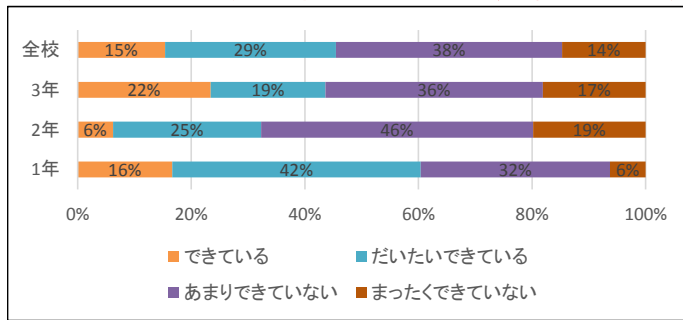
8. 学校や教室などの整理整頓を心がけていますか。



・いずれの学年も90%前後の生徒が整理整頓を心がけており、美しい学校を維持している。落ち着いた学校の一因となっていることは間違いない。

・自問清掃の精神が、環境美化につながっている。美しい環境づくりが生徒の健全な成長に多大なる影響を与えている。今後も、環境衛生に細心の注意を払い、美しい学校づくりを推進していきたい。

9. 自分から進んで地域の行事やボランティア活動に参加していますか。

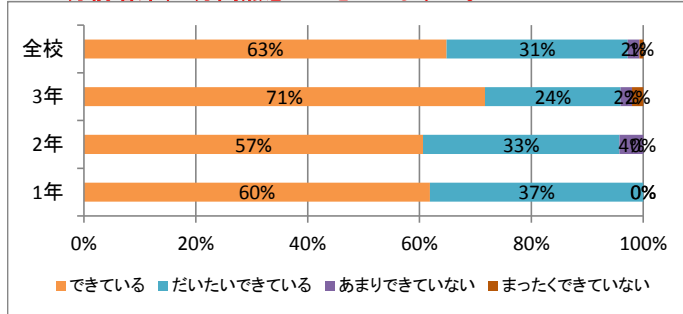


・自分から進んでボランティア活動に参加している生徒が、だいたいできているを含め44%である。

・あいさつ運動が広まっていったように、本校の誇りとして“ハッピー桃太郎運動”を旗頭にして、ボランティア活動もさらに推進していかなければならない。

・校内で培った自問清掃を校外で生かし、地域に貢献する生徒に育ててくれることを熱望する。

10. 2分前着席、1分間黙想ができていますか。

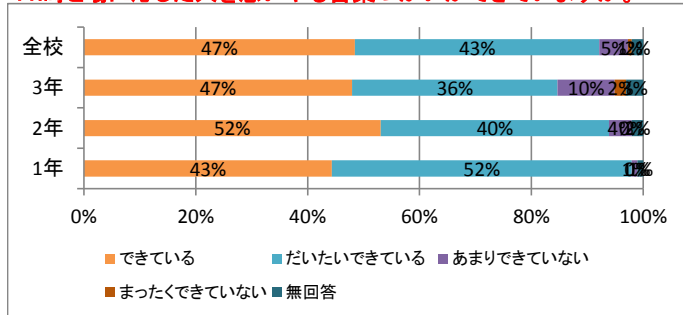


・だいたいできているを含めると、いずれの学年も90%の生徒ができています。1年生の高い数値は、小中一貫教育の成果と思われる。

・小学校においても、学年の発達段階によって黙想を行うようになり、落ち着いた授業づくりに貢献している。

・委員の呼びかけがなくても、自ら進んで着席や黙想を行い、休憩時間と授業時間の切り替えが常時円滑になされるように意識してほしい。

11. 時と場に応じた人を思いやる言葉づかいができていますか。

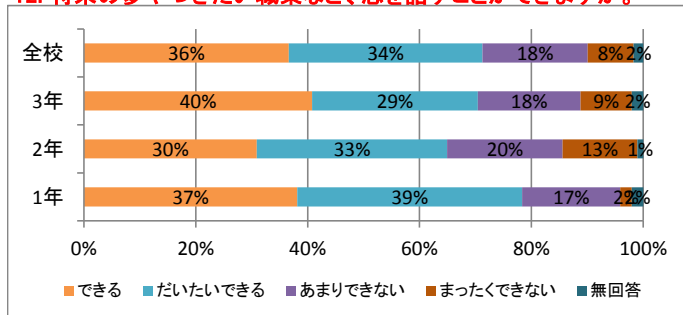


・だいたいできているを含めると、いずれの学年も80%以上の生徒ができており、1年生は95%に達している。

・全学年で100%を目指し、いじめの根絶に向けて取り組んでほしい。

・、不用意な発言がないか、日常の会話にこそ注意を払いたい。そして、温かい言葉かけにより、好ましい人間関係を築いてほしい。

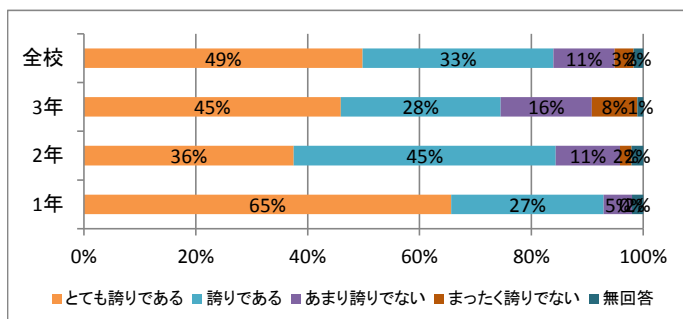
12. 将来の夢やつきたい職業など、志を話することができますか。



・だいたいできるも含めると全校では60%以上の生徒が志を話することができるとしている。キャリア教育の更なる充実により、生きる力の伸張に期待する。

・職場体験や立志式はもとより、入学時から将来に夢や希望をもって進路を選択できるよう、全教育活動を通じて支援していく必要がある。

13. あなた桃山中に誇りをもっていますか。



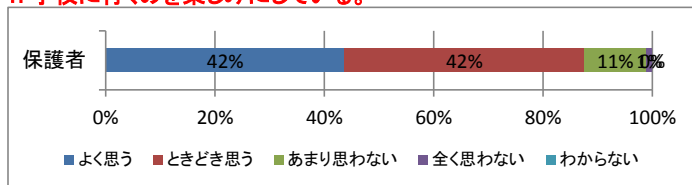
・全校で、82%の生徒が桃山中に誇りをもっているとしている。

・3年生がやや低調である。卒業までの残された時間を有効に使い、最上級生として誇りのもてる行動を心がけたい。

・校内におけるハッピーライフ運動、校外におけるハッピー桃太郎運動を中心とし、生徒会が主体となって我が校及び我が地域に誇りをもてる取組を着実に増やしていきたい。そして、地域とともにある学校を目指していきたい。

平成30年度1学期学校評価 保護者集計結果 宇部市立桃山中学校

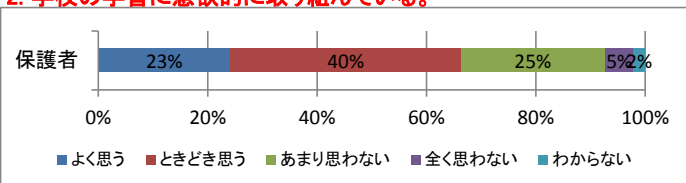
1. 学校に行くのを楽しみにしている。



・よく思うときどき思うも含め、肯定的回答が84%になる。

・生徒も、学校に行くのが楽しい、どちらかというと楽しいが85%あり、親子ともに学校を楽しく感じているとする割合が高く、大変好ましい傾向にある。

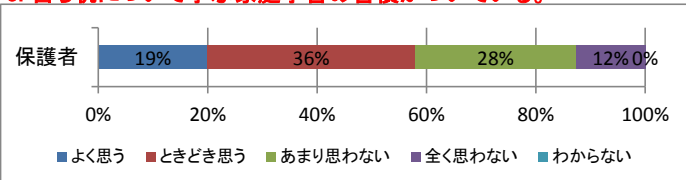
2. 学校の学習に意欲的に取り組んでいる。



・63%の保護者が、学習への意欲を感じているものの、取組に満足している保護者は23%にとどまっており十分とは言えない。

・学習意欲にも不足を感じている保護者が32%おり、意欲的でないと感じる生徒の10%を大きく上回る。

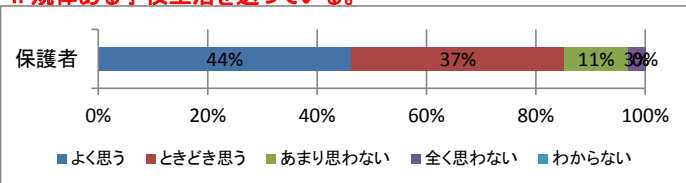
3. 自ら机について学ぶ家庭学習の習慣がついている。



・よく思うが19%にとどまっている。また、生徒アンケートで、家庭学習の時間が2時間以上とする生徒の割合も18%で、ほぼ同じ割合である。

・本校生徒にとって家庭学習習慣の確立は、学力向上達成のための最重要課題である。

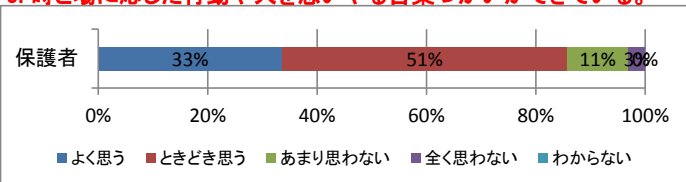
4. 規律ある学校生活を送っている。



・規律ある生活が送れていると肯定的に感じている割合が81%と大半を占める。

・学校全体の規律が維持され、落ち着いているととらえている保護者が大半で、好ましい傾向にある。

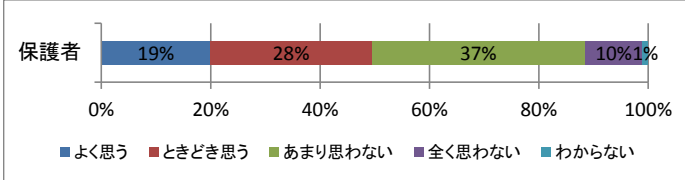
5. 時と場に応じた行動や人を思いやる言葉づかいができています。



・84%の保護者が肯定的にとらえている。生徒アンケートでも90%が肯定的であり、落ち着いた学校生活の裏付けとなっている。

・思いやりの心の育成は学校教育の根幹に関わることであり、是非とも維持したい。

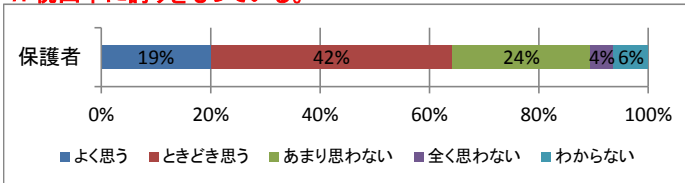
6. 将来の夢やつきたい職業など自分の志を話することができる。



・47%の保護者が思うとしている一方で、否定的に感じている割合も47%で、半々である。

・将来に夢や希望をもって中学校生活を送れるよう、家庭と連携してキャリア教育の一層の充実を図っていきたい。

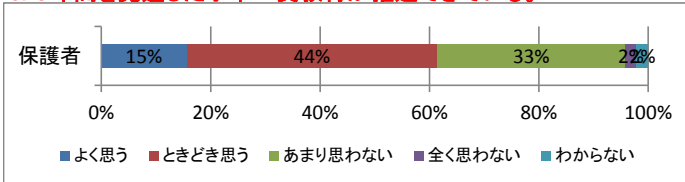
7. 桃山中に誇りをもっている。



・61%の保護者が思うとしている。学校教育目標の達成に向け、更なる努力を積み重ねたい。

・学校のさまざまな活動を積極的に発信し、学校評価を的確に生かすことにより、誇り意識を高めていきたい。

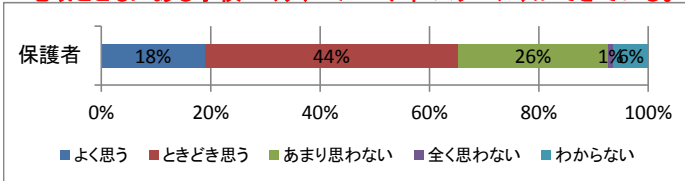
8. 9年間を見通した小中一貫教育が推進できている。



・59%の保護者が思うと回答している。取組の充実と保護者への発信、理解が必要である。

・新川、小羽山両小学校と、児童、生徒、教職員間で交流や緊密な連携を図り、宇部市小中一貫教育モデル校としての実績を残したいと考える。

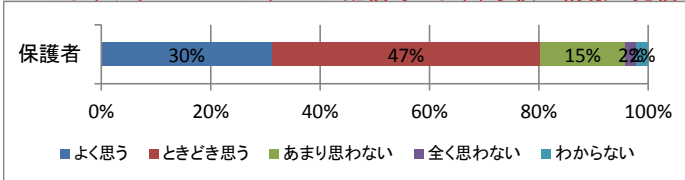
9. 地域とともにある学校づくり(コミュニティ・スクール)ができている。



・62%の保護者が思うと考えている。さらなる周知と協働実践が強く望まれるところである。

・生徒は積極的に地域の祭りや奉仕活動に参加しており、ハッピー桃太郎運動が広まっている。学校支援や地域貢献の場を意識的に増やし、地域とともにある学校を目指したい。

10. たよりやホームページ、メール配信等により、学校の情報が発信されている。



・77%が行き届いているとしている。しかし、学校からの緊急連絡等を考えると100%を目指す必要がある。

・保護者の方に関心をもってもらえるような内容を心がけ、家庭と連携を図りながら子どもの健全な成長を支援していきたい。